



データは特許で保護できるの？

- ★学習済みモデルを保護したい！
- ★流通性が高く侵害発見しやすそう！
- ★システムによる複数主体の侵害にも単独権利行使できそう！

特許保護可能なデータの
切り分けラインを研究中！
(データ特許の審査・判決調査)

クレーム作成のポイントを明らかにして
知財管理誌投稿予定 (2018/3)

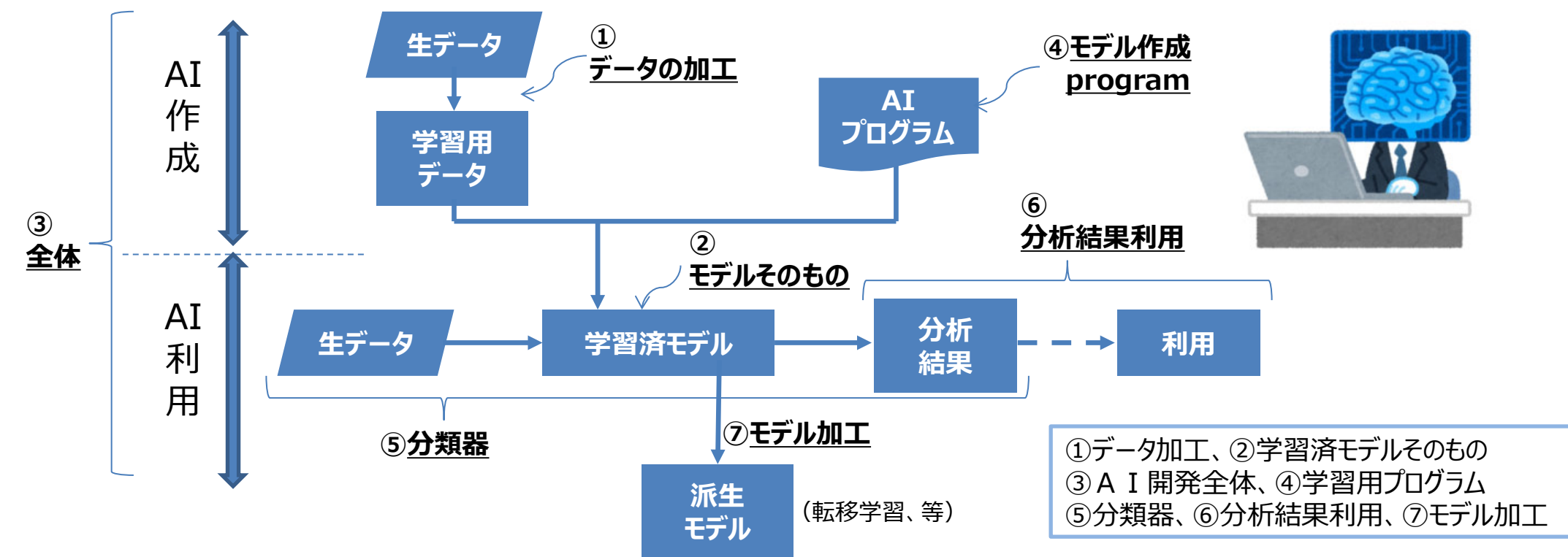
IoTやAIを用いたSWサービスを行う 企業の特許活用状況は？

分野	企業	US特許件数(*1)	US特許訴訟数(原告)(*2)
半導体	Intel	3.4万件	28+9(ITC)
	Qualcomm	2.0万件	22+6(ITC)
ソフトウェア	IBM	11.4万件	21+1(ITC)
	Oracle	0.8万件	19
	Microsoft	3.7万件	40+16(ITC)
産業用ソリューション	GE	4.3万件	49+2(ITC)
	Honeywell	1.6万件	64+5(ITC)
消費者製品	Nike	0.7万件	30+ 1 (ITC)
	Adidas	0.04万件	9+ 1 (ITC)

- ★マーケットシェアが高い事業で、後発企業に対する特許訴訟が多い：Qualcomm、GE、Honeywell
- ★スマートシティなど、市場開拓が必要な分野では協業する例が多い：Intel、Qualcomm、IBM

- ★ (*1)USPTO PatFTを使用、“Assignee Name”で検索
- ★ (*2)買収企業が原告のものも含み、職務発明関連訴訟も一部含む

- ★IoTやAIを用いたサービスに対する特許訴訟で実際に使われた特許の内容を分析中
- ★日本企業 of 知財戦略に対する示唆がどこまでできるか？（検討中）



AIベンダー／ユーザーが AI特許を利活用する方法は？

★AIに関する特許出願の分析を行い
7つのフェーズ(①～⑦)に分類分け

各フェーズで
各プレイヤー（AIベンダー／AIユーザー）が
どういった場面でどう利活用できるのか、等
詳細を検討中！

知財管理誌投稿予定(2018/3)

AIに関する知財戦略立案で 考慮すべきことは？

